

授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ○ 問題意識を持たせる | ○ 自分との関わりで考えさせる |
| ○ 多面的・多角的に考えさせる | ○ 自己の生き方について考えさせる |

小学校4年生 C-(11)規則の尊重 「雨のバスていりゅう所で」のポイント

<ねらい> 集団生活をする上で、相手や周りの人の立場に立って行動しようとする道徳的判断力を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に・・・

① <問題意識を持たせる>

- ・ 同じ内容項目「規則の尊重」の「日曜日のバーベキュー」の授業で学習したことを振り返り、本時の課題に対して問題意識を持たせる。

② <多面的・多角的に考えさせる>

- ・ 軒下に並んでいた人の立場から、よし子の行動についてどう思うかを多面的・多角的に考えさせる。

(補助発問) ●軒下で並んでいた人たちは、よし子を見て、どんなことを思っていたでしょう。

③ <自分との関わりで考えさせる>

- ・ よし子が母の横顔を見て考えたことについて、相手や周りの人の立場に立って行動することの大切さや必要性について、自分の生活経験と照らし合わせて考えさせる。

(中心的な発問) ◎知らぬふりをして、窓の外を見ているお母さんの横顔を見て、よし子はどんなことを考えていたのでしょうか。

④ <自己の生き方について考えさせる>

⑤ <自分との関わりで考えさせる>

- ・ みんなが気持ちよく生活するために大切なことについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方についての考えを深めさせる。

展開

終末

